



日鉄鉦業株式会社

2023年度（2024年3月期） 第1四半期 決算説明資料

証券コード：1515

2023年8月7日

決算説明資料 目次

1. 2023年度 第1四半期 連結決算概要 ……P.3
2. 2023年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 ……P.4
3. 連結貸借対照表 ……P.12
4. 2023年度 中期経営計画の進捗 ……P.13
5. 2023年度 連結業績予想 ……P.14
6. 政策保有株式に関する方針 ……P.16
7. 株主還元方針 ……P.17

1. 2023年度 第1四半期 連結決算概要

- 売上高は、金属部門における電気銅及び銅精鉱の銅価下落の影響や減販により、減収となった。
- 営業利益及び経常利益は、銅価下落や為替変動の影響、生産コストの増加等により、減益となった。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少により、減益となった。

(単位：億円)

<業績>	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増減
売上高	402	399	△2
営業利益	51	27	△23
経常利益	61	33	△27
親会社株主に帰属する 四半期純利益	38	23	△14

<指標等>	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増減
ROA（総資本営業利益率）※年換算	10.1%	5.3%	△4.8%
自己資本比率	59.6%	62.5%	2.9%
銅価格（¢/lb）	432.11	384.56	△47.55
為替レート（円/米ドル）	129.57	137.37	7.8

2. 2023年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要（売上高）

（単位：億円）

	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	151	153	2	石灰石 増収：販売価格の上昇 砕石 増収：販売価格の上昇
資源事業：金属部門	210	203	△7	電気銅 減収：銅価下落、販売数量の減少 銅精鉱 減収：銅価下落、販売数量の減少 その他 増収：金の増販及び価格上昇
機械・環境事業	28	30	1	産業機械 増収：機械関連子会社での増販 環境商品 増収：水処理剤の販売価格の上昇
不動産事業	7	7	0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	4	4	△0	前年同期なみ
合計	402	399	△2	

2. 2023年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要（営業利益）

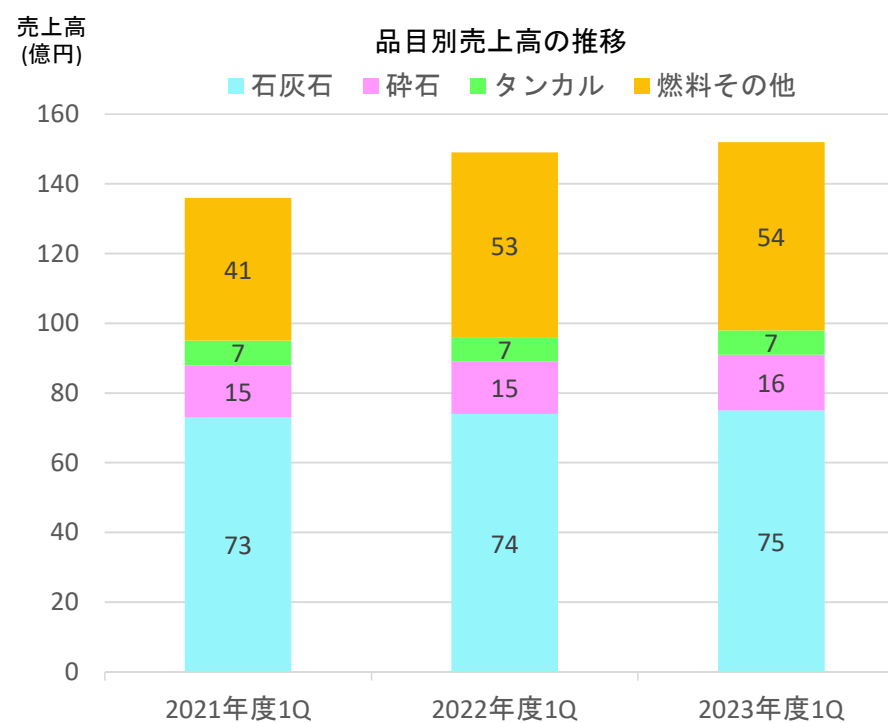
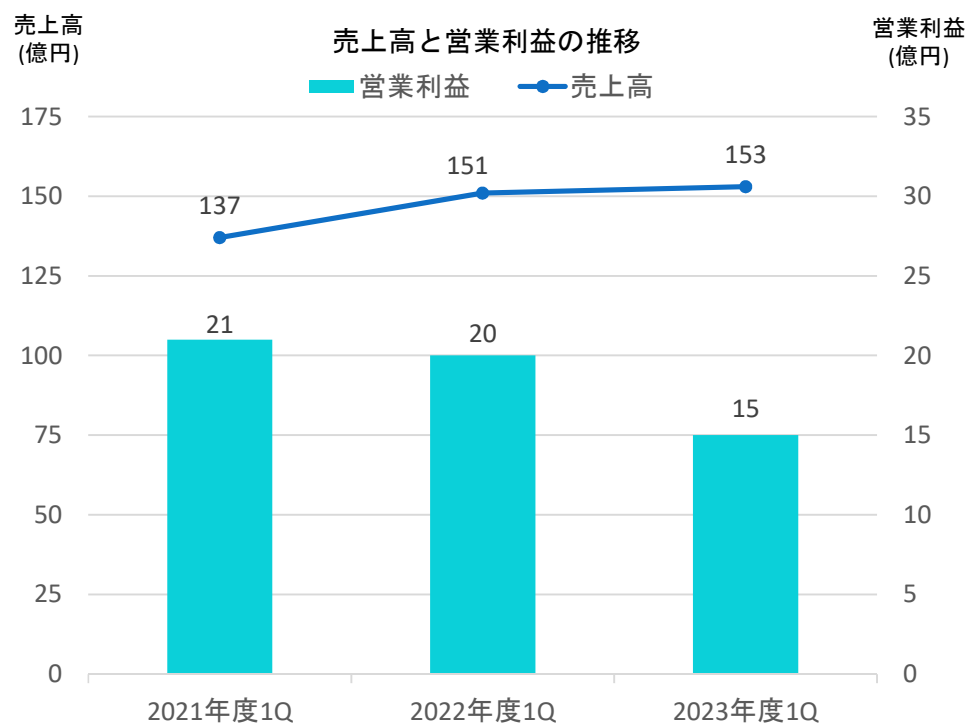
（単位：億円）

	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増減	増減説明
資源事業：鉍石部門	20	15	△4	石灰石等の生産コスト増加により減益
資源事業：金属部門	28	8	△19	銅価下落、為替変動の影響、 銅鉍山での生産コスト増加により減益
機械・環境事業	2	3	1	水処理剤の増収により増益
不動産事業	4	4	0	前年同期なみ
再生可能エネルギー 事業	1	1	△0	前年同期なみ
調整額	△6	△6	△0	前年同期なみ
合計	51	27	△23	

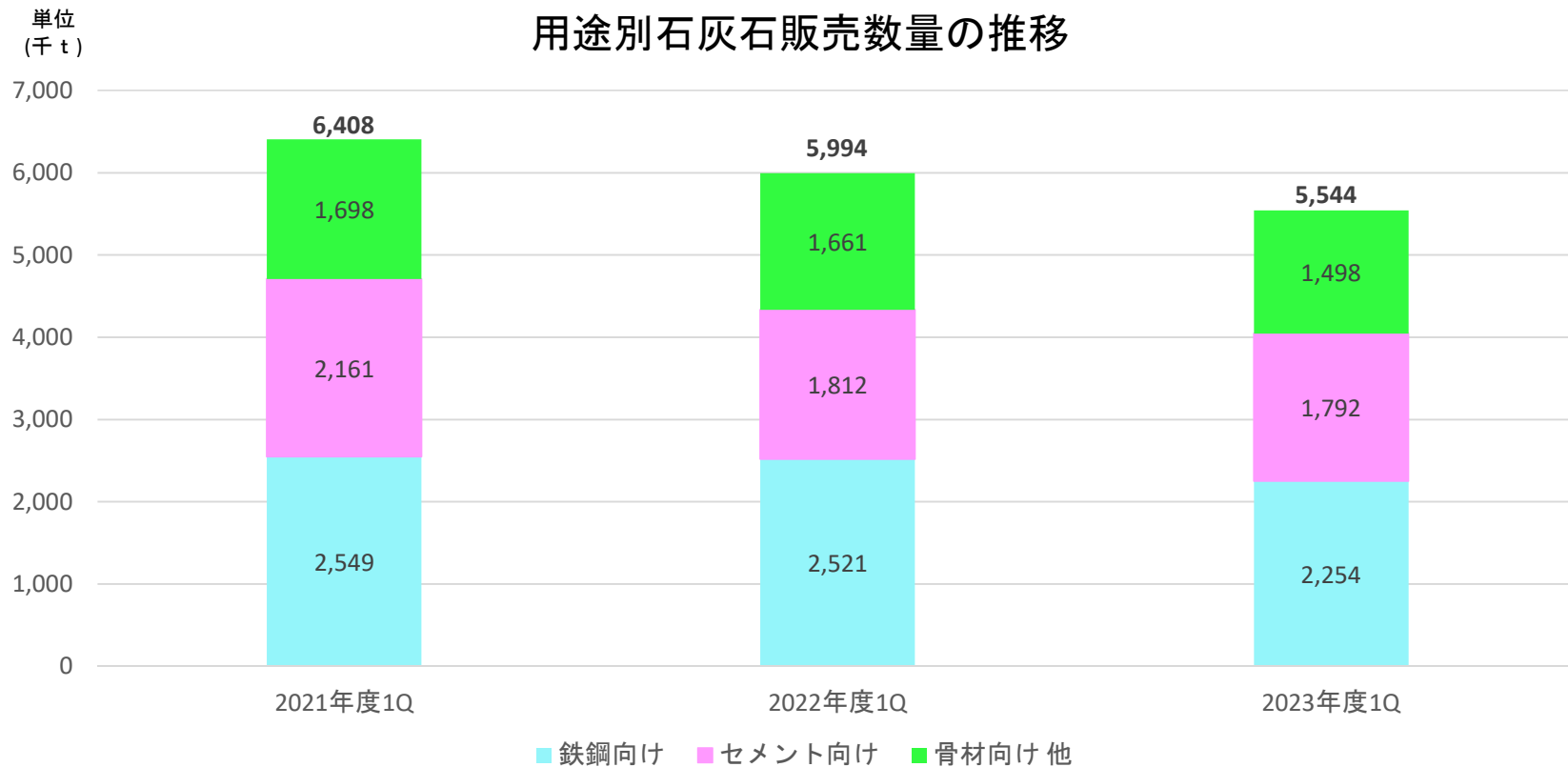
2. 2023年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要

資源事業：鉱石部門

- 鉱石部門は、売上高は石灰石の販売価格の上昇等により増加したが、営業利益はエネルギーコストの増加等により減少した。

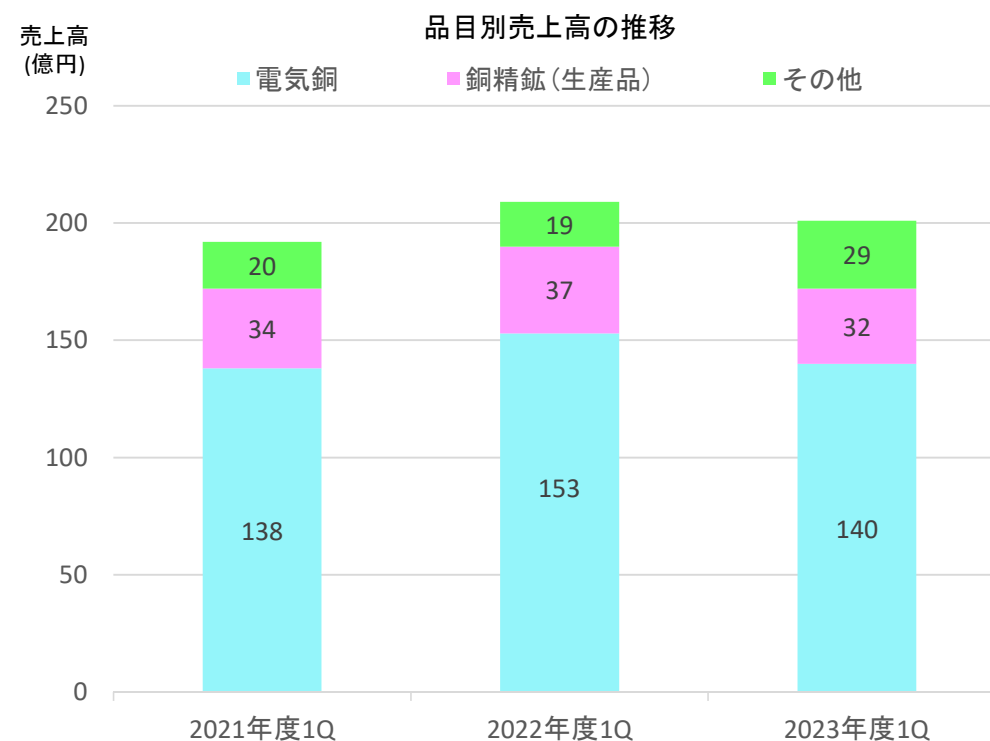
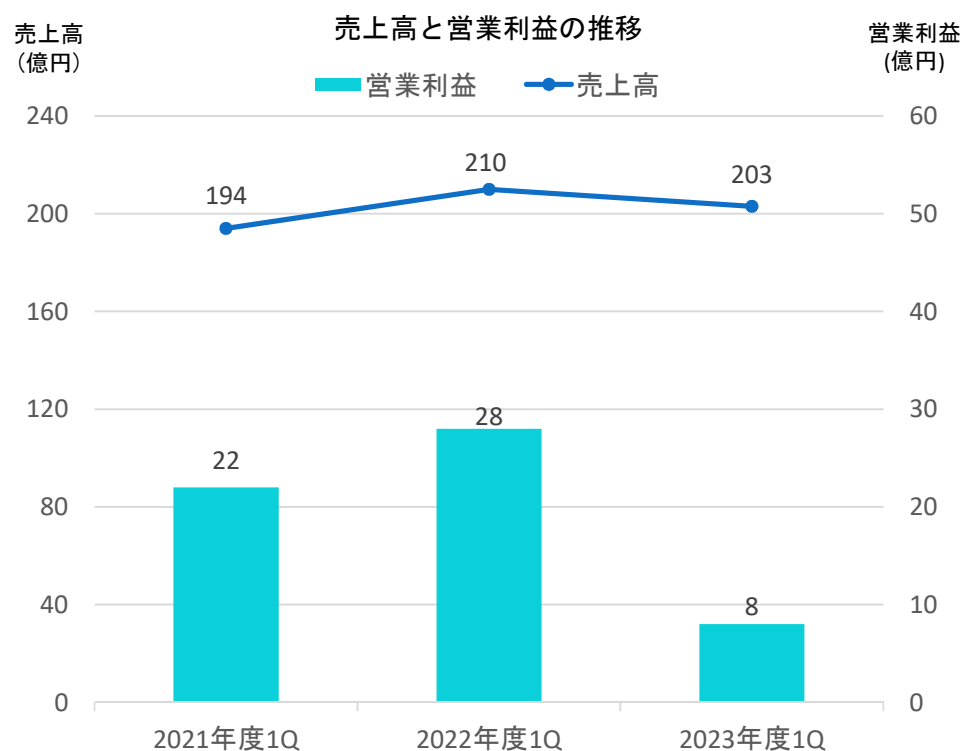


資源事業：鉱石部門 (参考) 用途別石灰石販売数量の推移



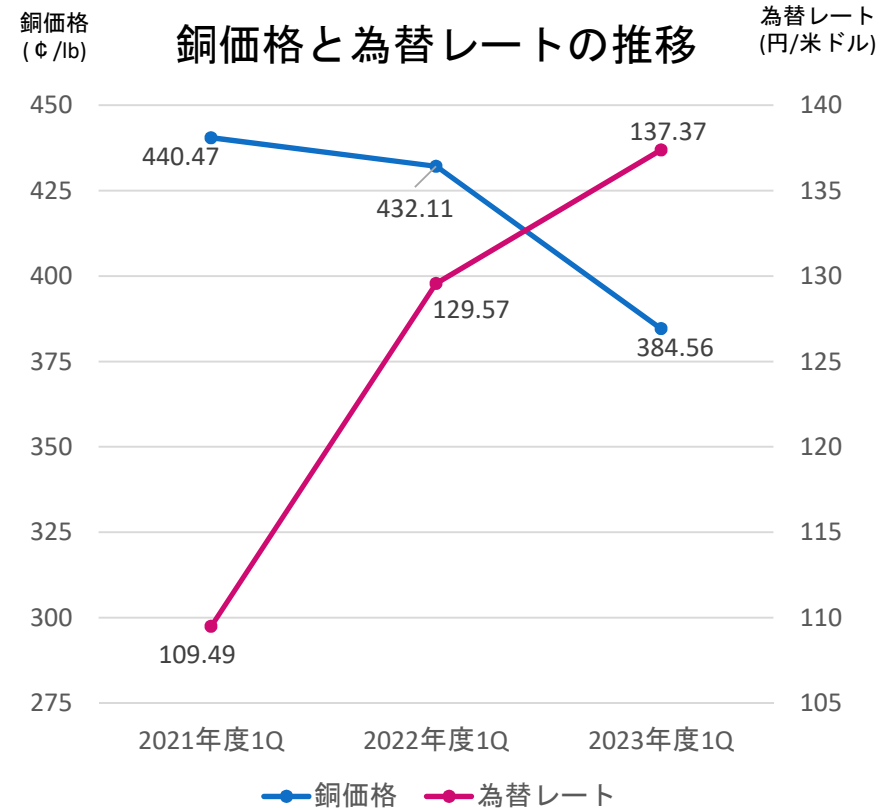
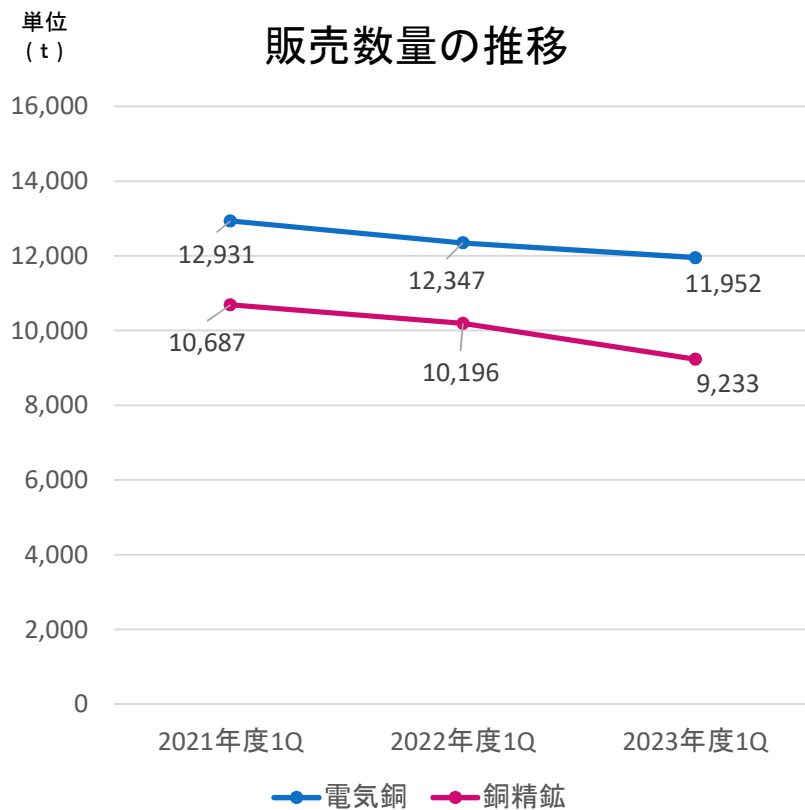
2. 2023年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 資源事業：金属部門

- 金属部門は、売上高は電気銅及び銅精鉱における銅価の下落や販売数量の減少により減少し、営業利益は銅価下落や為替変動の影響、アタカマ銅鉱山の生産コスト増加等により減少した。



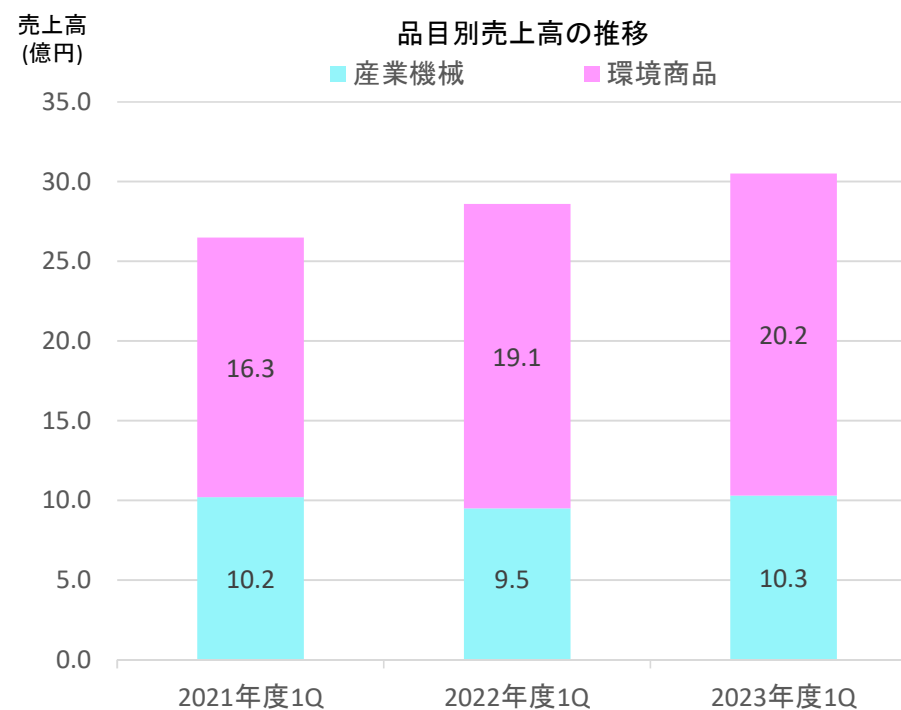
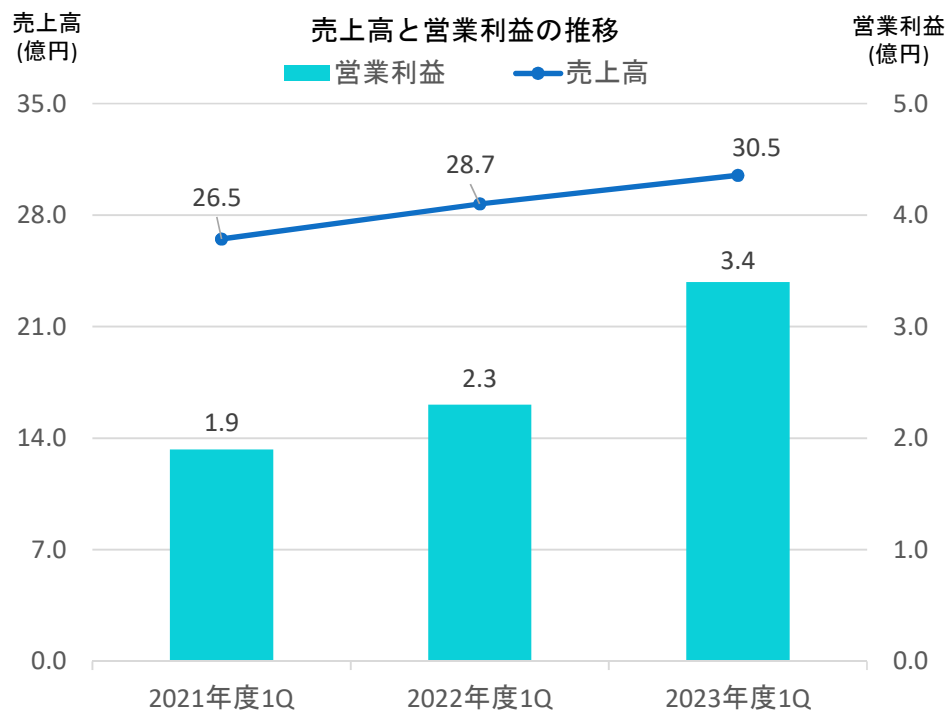
資源事業：金属部門

(参考) 販売数量の推移、銅価格と為替レートの推移



2. 2023年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 機械・環境事業

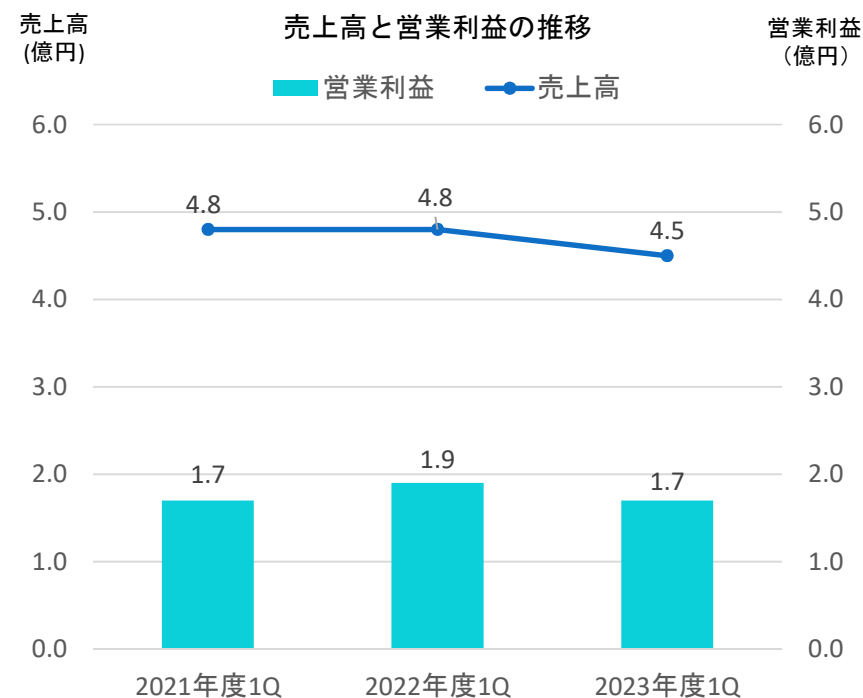
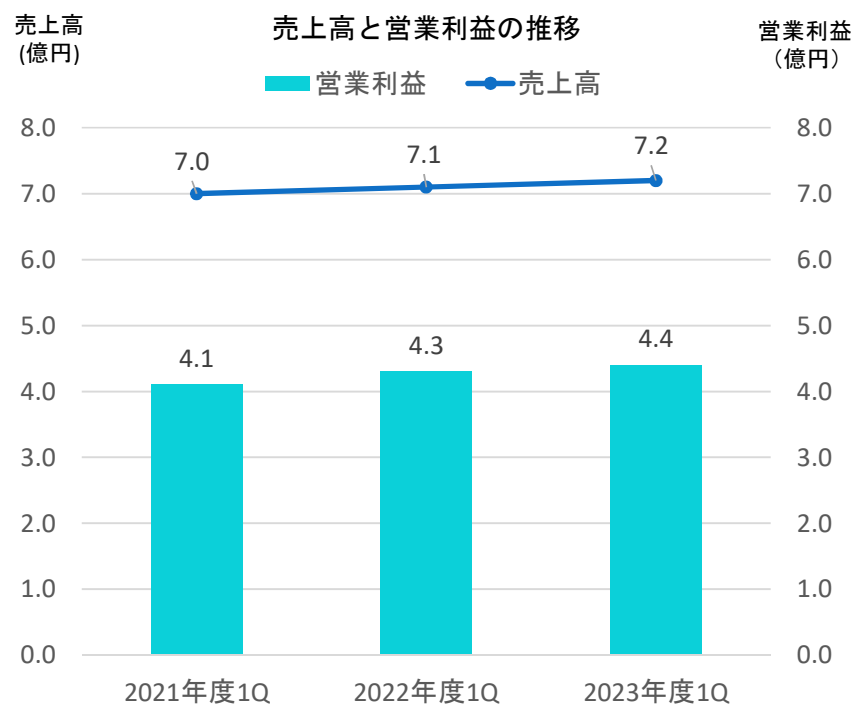
- 機械・環境事業は、環境部門の主力商品である水処理剤の販売価格の上昇に加え、一部機械関連子会社における販売も順調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加した。



2. 2023年度 第1四半期 セグメント別連結決算概要 不動産事業、再生可能エネルギー事業

- 不動産事業は、賃貸物件の順調な稼働により、売上高、営業利益ともに増加した。

- 再生可能エネルギー事業は、地熱部門は概ね順調に推移したものの、太陽光発電の減収により、売上高、営業利益ともに減少した。



3. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2023年3月31日	2023年6月30日	増減
流動資産 計	941	965	23
現金及び預金	400	375	△24
受取手形、売掛金及び契約資産	306	307	0
棚卸資産※	177	226	49
固定資産 計	1,141	1,162	20
有形固定資産	702	707	4
無形固定資産	40	40	0
投資その他の資産	398	414	16
流動負債 計	482	511	28
支払手形及び買掛金	152	184	31
短期借入金	197	193	△3
固定負債 計	206	205	△0
長期借入金	11	8	△2
退職給付に係る負債	19	18	△0
純資産	1,394	1,410	16
自己資本	1,323	1,329	6
非支配株主持分	70	81	10
総資産	2,083	2,128	44

<自己資本比率>

63.5%

62.5%

△1.0%

※棚卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

4. 2023年度 中期経営計画の進捗（連結）

◆ 2023年度計画の営業利益の1Q時点での進捗率は**37%**。

⇒主な要因：鉱石部門 鳥形山第3立坑建設工事の工期延長による償却費減により高い進捗率で推移

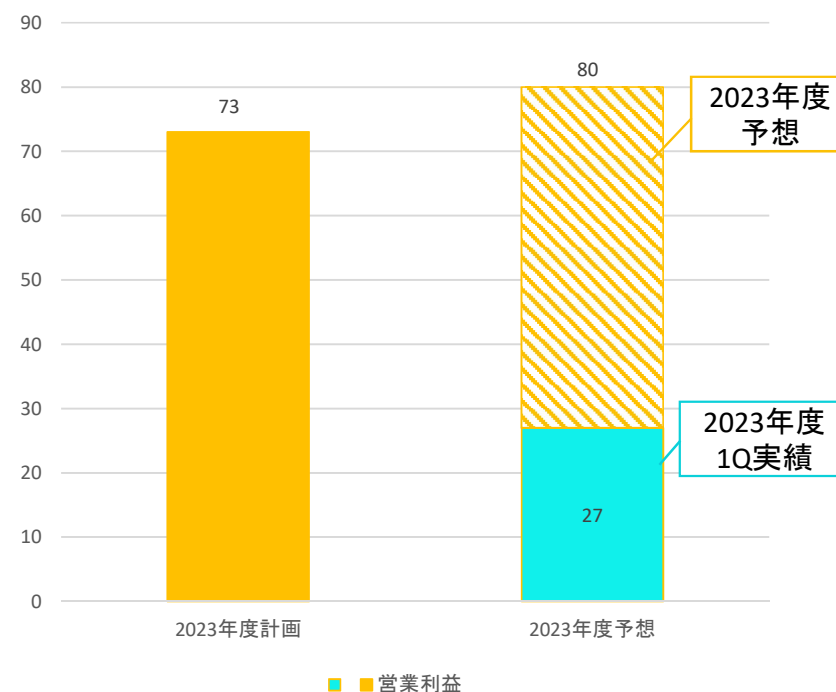
金属部門 生産コストが増加しているものの、銅価の上昇及び円安進行の影響により高い進捗率で推移

（単位：億円）

<業績>	2023年度計画	2023年度1Q実績	進捗率
売上高	1,238	399	32%
営業利益	73	27	37%
資源事業：鉱石部門	40	15	38%
資源事業：金属部門	25	8	32%
機械・環境事業	11	3	27%
不動産事業	16	4	25%
再生可能エネルギー事業	4	1	25%
調整額	△23	△6	26%

<前提条件>	2023年度計画	2023年度1Q実績	増減
銅価格（¢/lb）	350.00	384.56	34.56
為替レート（円/米ドル）	105.00	137.37	32.37

2023年度中期経営計画の進捗



5. 2023年度 連結業績予想

◆ 2023年度業績予想については、2023年5月12日公表値より変更ない。

(単位：億円)

	2022年度実績	2023年度予想	増減
売上高	1,640	1,580	△60
営業利益	136	80	△56
経常利益	132	90	△42
親会社株主に帰属する当期純利益	97	55	△42
1株当たり当期純利益 (円)	587.89	330.60	△257.29
銅価格 (¢/lb)	387.87	380.00	△7.87
為替レート (円/米ドル)	135.47	130.00	△5.47
1株当たり配当額 (円)	177.50	100.00	△77.50

※2022年10月1日を効力発生日とした普通株式1株を2株とする株式分割実施のため、1株当たり情報は過去に遡って当該株式分割が行われたと仮定し算定している。

■ 感応度 (第2四半期以降)

(単位：億円)

銅価格	10 ¢ / lb 上昇	売上高への影響 営業損益への影響	+13.3 +2.3
為替レート	5円 / 米ドル円安	売上高への影響 営業損益への影響	+19.8 +1.2

5. 2023年度 連結業績予想（セグメント別）

■セグメント別売上高、営業利益

（単位：億円）

	売上高		
	2022年度 実績	2023年度 予想	増減
資源事業：鉱石部門	600	645	45
資源事業：金属部門	869	765	△104
機械・環境事業	137	137	－
不動産事業	28	28	－
再生可能エネルギー事業	17	17	－
調整額	△13	△12	1
合計	1,640	1,580	△60

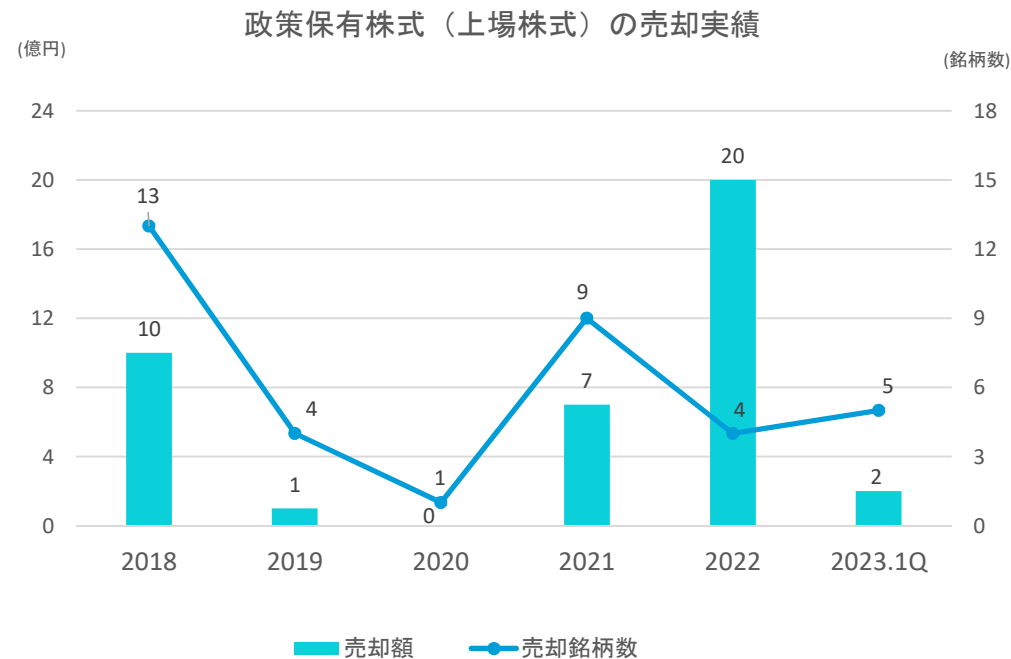
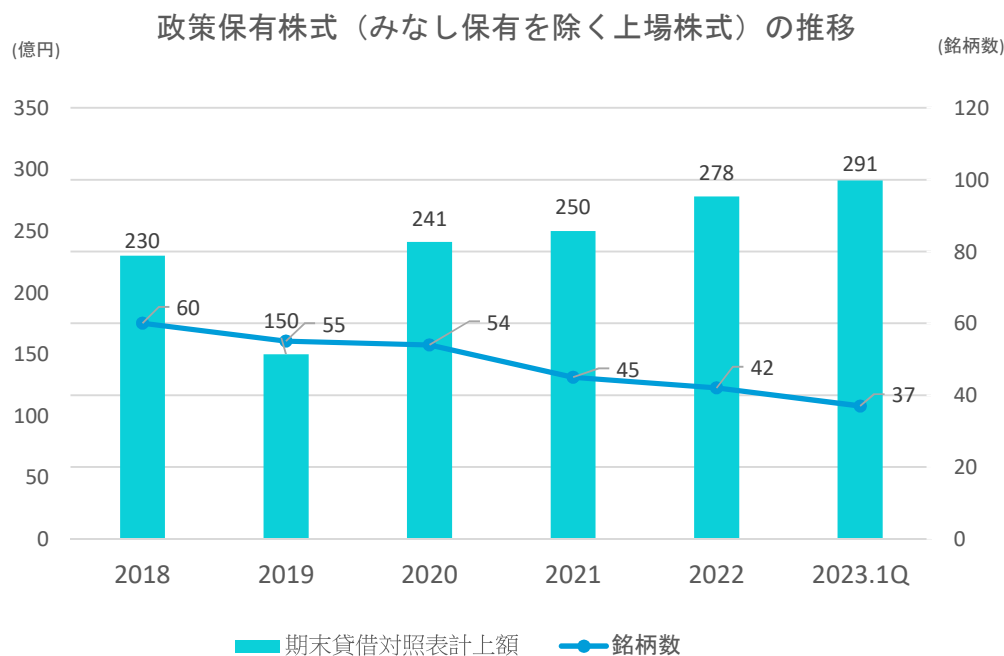
	営業利益		
	2022年度 実績	2023年度 予想	増減
	59	66	7
	66	7	△59
	12	12	－
	17	15	△2
	5	4	△1
	△24	△24	－
	136	80	△56

6. 政策保有株式に関する方針

当社は、2022年11月4日に公表した統合報告書に記載のとおり、2022年度～2026年度の5年間で60億円（2022年3月末時価基準）の政策保有株式を縮減する計画としています。

2023年度においては、第1四半期に5銘柄、2億円（2022年3月末時価も同額）を売却しました。

政策保有株式の議決権の行使については、当社及び投資先企業の中長期的な企業価値向上に繋がるか、また当社の株式保有の意義が損なわれないかを判断基準として、適切に行使します。



7. 株主還元方針

2021年度～2023年度：連結配当性向 30%を目途に還元

当社の主力事業である鉱山業は、調査から開発、その後の操業期間も数十年以上という非常に長期間にわたる事業です。その間には資源価格の変動などによる利益の増減が発生しますが、ライフサイクルが長いという事業特性と、持続的成長を目的とした将来の投資へ備えるため、自己資本の充実と株主還元の最適なバランスを図りながら、長期安定的な配当を実施します。

(参考) 連結配当性向実績と予想

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (予想)
17.1%	16.6%	22.2%	30.0%	30.2%	30%目途

注意事項

将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料における業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



日鉄鉱業株式会社